

兵庫県立神崎工業高等学校 平成26年度学校評価（保護者）

各質問に対してA、B、C、Dのいずれかで評価をして、それぞれ○をつけてください。

(A=たいへんそう思う B=そう思う C=あまりそう思わない D=まったくそう思わない)

有効回答数=74

	実践目標	最も多かった評価
1	学校は、「学年通信」・「学校だより」月1回発行するとともに「ホームページ」を通じて、保護者に可能な限り情報を公開している。	B
2	学校は、年度当初に生徒指導方針を生徒や保護者に明確に説明し、定期的にその方針の達成状況を保護者に伝えている。	B
3	学校は、各学期に個人面談を実施すると共に、家庭とも密接な連絡をとっている。	B
4	学校は、生徒会行事の活性を図り、生徒の自律意識を高める。	B
5	学校は、進路指導に関する年間計画を作成し、組織的に指導している。	B
6	学校は、外部講師による進路講演会を開催し、生徒の職業観を高めている。	B
7	学校は、公開授業を実施し、各学期に1回以上研究授業を行っている。	B
8	学校は、授業参観や人権教育研修・保健講話など、保護者に対して学校を開き、生徒理解を深めている。	B
9	学校は、多様な選択科目や体験活動等を設定し、生徒の関心に応じた特色ある教育課程を編成している。	B
10	学校は、全校一斉テストを実施し、生徒の学力を把握して、指導方法を工夫している。	B
11	学校は、生徒の実態を把握して、個に応じた指導をおこなう。	B
12	学校は、部活動の活性化や生徒会活動の積極的な運営を進めている。	B
13	学校は、各種ボランティア活動への積極的参加を促し、全生徒が年に1回以上参加している。	B
14	学校は、文化祭（神工祭）で、専門科の実習内容や文化部の発表の場を設けている。	B
15	学校は、生徒を資格検定試験に参加させ、学習意欲の喚起を図っている。	B
16	学校は、物づくりを中心とした課題に生徒の意欲関心を持たせる工夫をしている。	B
17	学校は、生徒に総合的な技術を習得させて、応用と創造の能力を育成している。	B
18	学校は、生徒の防災意識を高めるために、防災訓練を行っている。	B
19	学校は、人権教育HRや生活体験発表会において、生徒相互に尊重し合う態度を育てている。	B
20	学校は、生徒の情報モラルを育成し、プライバシー保護や著作権尊重の重要性を考えさせている。	B
21	学校は、生徒の身近な問題から環境への関心を高め、より良い環境を創造するための実践力を育てている。	B
22	学校は、交通安全指導を強化し、自他の生命を尊重する意識を高めている。	B